



### 第 282 回例会

日 時：平成 31 年 4 月 11 日 (木) 11:30～13:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：48 名 出席率 76.2%

(会員総数 63 名 欠席 15 名)

#### 会食とハッピーコイン披露

池田例会委員長の進行で会食に入り、田中交流担当理事からハッピーコイン 19 件の披露があった。

(4～5 ページに掲載)

#### 1. 開 会

#### 池田例会委員長

第 282 回例会を開催します。(配布資料の確認)

#### 2. 会 長 挨拶

#### 馬 場 会 長



皆様こんにちは。本日の例会はやはり言葉で言えば「平成最後の例会」になります。新元号の発表に続き新紙幣の発行予告があり、世の中の停滞ムードを一新したいという大きな流れが感じられ、多くの人々が先行きに期待を感じていることでしょう。足元を見れば、昨日の冷雨で浮つき気味だった桜のシーズンが終わり、新しい出発へと着実に歩み始める季節となりました。その中で、我がクラブでは先月に続き例会欠席者が 15 名と多く大変気がかりであります。何よりも、多くの会員の皆様がお元気で快く例会に出席して頂くことを願っています。一方、生涯学習サロンでは、第 1・2 週の出席者が例年以上に順調であり、また野外サロンでは定員以上の申し込みがあると聞いており、喜ばしいことでもあります。

5 月 1 日には新天皇が即位され、新しい時代を画する行事がはじまることでしょう。我がクラブにと

っても 5 月例会は「令和初の例会」でもあり、明るさに満ちた例会となって欲しいと願っています。

#### 3. パースデーカードの贈呈

4 月生まれの会員に、池田会員手作りのパースデーカードが馬場会長から贈られた。



左から塩澤・井上・池田・内山の各会員 (敬称略)

(佐々木研吾会員は欠席)

#### 4. 卓 話

「開 運—あなたは絶対運がいい！」

間宮 敏明

1 自分の周りに起こる事は、全部自分が決められる。

(1) 運のよい人は最初から決まっている。「プラス思考」

(2) プラスパワーの作り方  
「徳を積む」

笑顔、円満、寛大、思いやり、親切、目の前のことに全力、行

いを良く、お年寄りにやさしく、言葉使いや礼儀を良く、掃除、身の回りを綺麗に。悪口を言わない。

(3) とにかく明るい気分で。

(4) 心配しない方がうまくいく。

マイナス要素 文句、愚痴、悪口、ねたみ、そねみ。「心配や不安」

(5) 考えても解決しないときは考えるのをやめる。



- (6) プラスパワーを貯めて自分の悩みをやっつける。  
「何か見えない力が働いている」
- (7) 小さな事に文句を言わない、イライラしない。
- (8) 悪い想像をするだけで、うまくいっているものもダメになる。

2 とにかく理想は現実になると信じること。

- (1) 理想を夢で終わらせるか、現実にするか。  
「心」「意識」
- (2) なりたい自分の姿を思い描く。  
常に思い続ける。型。プラスのパワー。
- (3) 思い描き方のコツ。  
成功した時の自分の姿をイメージする。
- (4) 思い描く+プラスのパワーで実現する。
- (5) 理想を声に出す、文字にする。
- (6) 絶対にうまくいくと思いつむ。
- (7) 言葉には「言霊」がある。  
よい言葉、幸せ。
- (8) 本当になったら困る事は、冗談でも言わない。
- (9) 褒められたら、否定しない。
- (10) ほめて育てる。

3 良いことだけを起こしたいなら、自分のレベルを上げる。

- (1) 人の心、意識にはレベルがある。
- (2) 自分の周りには、自分と同じレベルのことしか起こらない。
- (3) レベルの高い人は、どんな事でもうまくいく。
- (4) 自分のレベルをチェックする方法。
- (5) 友達も自分のレベルに応じて選ばれている。

4 レベルが上がるとこんなすごいことが起こる。

- (1) 思ったことが実現する。
- (2) 欲しいものが向こうからやってくる。
- (3) グッドタイミングで動ける。
- (4) 新しい世界の人とのつながりができる。
- (5) 高いレベルの人たちの仲間入りができる。
- (6) 嫌だな！と思っていた人と自然に縁が切れる。
- (7) その時に自分に必要な情報が舞い込んでくる。  
心に残った言葉や表現、人の話、マスコミ、広告、  
気付くことが大事。
- (8) トラブルが解決しやすくなる。

5 レベルを上げるチャンスは逃さない。

- (1) トラブルはレベルアップのチャンスと考える。

- (2) うまく行ったら感謝する。
  - (3) 直感を信じて行動に移す。  
直感は自分に必要な情報。
  - (4) 自分にできないことはやってこない。
  - (5) 情けは人の為ならず。
  - (6) 人を誉めることは自分を誉めることになる。  
心が明るく、良い気分。プラスのパワーが増加。
- 6 そして、川の流れるように生きる。
- (1) 物事をありのままに受け止める。
  - (2) 自然の流れに任せる。
  - (3) 人事を尽くして天命を待つ。
  - (4) 一生悪い時期が続くことはあり得ない。
  - (5) 執着を捨てると望みが叶う。
  - (6) 迷ったら本音で動く。
  - (7) 心が楽しいと感じることをする。

\*出典・参考:

浅見 帆帆子 (あさみ ほほこ) 「あなたは絶対運がいい！」

以上

## 5. 幹事報告

寺田 幹事

幹事からの報告は4件です。

① 日野プロバスクラブ例会 100 回記念イベントが 4月18日(木)の午後1時15分から高幡不動尊客殿2階で開催されます。参加費は無料です。講演では「青春が蘇る！主題歌でたどる日本映画が最も輝いていた頃」をテーマに映画解説者小澤正人氏(静岡県)の講演が行なわれます。

今回の100回記念例会は、申込等特に必要なく、自由に参加できます。但し受付で名刺等頂きたいとのことです。

② 多摩プロバスクラブ創立15周年記念式典と祝賀会が5月22日(水)にパルテノン多摩4階で開催されます。午前10時から式典が開催され、12時から午後2時まで祝賀会が開催されます。

祝賀会の参加費は6,000円です。事前登録が必要なため、参加を希望される方は本日例会終了までに寺田へ連絡してください。

③ 健康フェスタが5月19日(日)にエスフォルタアリーナで開催されます。参加協力をして頂く8の方に御礼申し上げます。会場の受付が2カ所で、それぞれ午前と午後の組み合わせを行います。

5月9日に関係者の打ち合わせがありますので、大澤副幹事より決定事項を参加者にご連絡させていただきます。宜しく申し上げます。

④ 本年度の「事業報告のまとめ」を各委員長に5月末を目処にお願いをしております。

同様に同好会の「本年度の活動報告」も5月末を目処にお願いをします。同好会の代表者のかたのレターケースに昨年度サンプルを入れましたので宜しくお願いいたします。どちらも出来れば電子データで寺田宛お送りいただければ幸いです。

## 6. 各委員会報告

### (1) 例会委員会 池田委員長

いつもお世話になっております。

本日の例会の出席状況は、出席48名・欠席15名で出席率は76.2%でした。

### (2) 情報委員会 持田委員長

・プロバス日より281号を配布いたしました、今月号は八木会員が編集担当でした。今月の寄稿は矢島会員から寄稿を頂きました、ありがとうございました。今回は6頁仕立てにしたため、せっかく頂いた寄稿を掲載できず次号に廻すことにさせて頂きました。寄稿された方には時機を失うようなことがあり、申し訳ありません。

・HPへの3月のアクセス回数は215回でした。また、HPのトップページにサロンの第1週の様子を簡単に掲載いたしました。

### (3) 会員委員会 岡本委員長

新会員増員につきましては、皆さまに日頃大変ご努力を賜り、誠にありがとうございます。今期も今回の例会を入れてあと3回となりました。今期中にもう少し会員を増やしたいと考えております。何とか数名でも新会員を紹介して頂ければと思っております。よろしくお願い致します。

### (4) 研修委員会 有田委員長

① 今後の卓話についてのお知らせ

5月：生涯学習サロン閉講式のため行いません。

6月：自主学習会「老年研究会」の総仕上げとし特別講演会を計画。講師として桜美林大学の芳賀教授をお招きします。

② 自主学習会

「地域問題研究会」資料参照 深谷会員  
「老年研究会」出張見学のご案内 杉山会員  
(ア)日時：令和元年5月30日(木)10時～12時  
(イ)場所：ケアタウン小平クリニック  
(ウ)目的：先端的在宅医療支援診療所の最前線を見学

(エ)募集人員：10名

### (5) 地域奉仕委員会 一瀬委員長

第23回生涯学習サロンは開講式、サロン第1週、第2週ときて、本日は第3週を迎えることになりました。その間、話し手の皆様をはじめ、皆様方のご協力を得て順調に経過してきています。

参加人員も開講式117名、第1週124名、第2週122名となっております。

25日には野外サロンが予定されています。お天気が頼みの綱ではありますが。

そして来月9日、元号が令和になってからであります。閉講式・さよならパーティーになだれ込んでいくということになっております(本日パーティー参加費5,000円を徴収させていただきます)。

気を緩めずスムーズな運営に努めてまいりたいと思っております。最後までよろしくお願い致します。

### (6) 交流担当 田中交流担当

他クラブとの交流の一環として、4月19日に当クラブの馬場会長、飯田副会長、田中の3人で「埼玉浮き城プロバスクラブ」を訪問する計画です。

### (7) 「宇宙の学校」 下山PJリーダー

新年度の計画案が決まりました。6月9日に東京工科大会場からスタートとし、11月17日の教育センター会場まで、3会場各4日ずつ、12日間のスクーリングを行います。4月24日の実行委員会で正式に決定します。5月の例会において、ご協力を頂ける方の登録をお願いする予定です。登録は

① 技術指導の補助者テクニカルスタッフ

② 受付などのお手伝いを願うゼネラルスタッフ

③ 特にお仕事はありませんが、大所高所から子供の成長に関するアドバイスを頂くシニアフェロー

以上の3タイプに分けて募集を致しますので、よろしくご協力ください。

### (8) 同好会報告他 (詳細は掲示板に掲出)

① お茶の会 (案内参照)

② 古典芸能鑑賞会 (案内参照)

③ ゴルフ同好会 持田会員

5月17日(金)三多摩ゴルフコンペ。

5月24日(金)八王子プロバスコンペ。

共にGMGゴルフクラブにて。奮ってご参加を。

④ 俳句同好会 河合会員

発会后8年になり自選句集第6号が出来ました。

ご希望の方は差し上げますのでご連絡ください。

## 7. その他

「ドクター肥沼の偉業を伝える会」の紙芝居が出来ました。好評です。(サンプル回覧) 岩島会員

## 8. プロバス賛歌斉唱



## 9. 閉会

飯田副会長

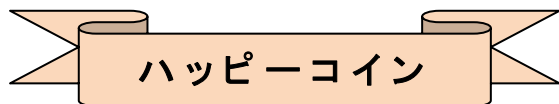
本日の例会お疲れ様でした。



今日は「開運」のお話を間宮様からお伺いすることができ、沢山の開運が舞い込んできそうです。ありがとうございました。今後もプラス思考で過ごしたいと思います。

本日も例会終了後サロンが開催されます。ご担当の方はよろしくお願い申し上げます。4月25日は野外サロンが実施されますので、場所や時間等のお間違いのないようにご参加ください。5月の例会は例会後、閉講式、特別講話、さよならパーティーがあります。

例会の開催時刻は11時30分からとなりますのでよろしくお願い致します。本日はお疲れ様でした。



● 4月1日に新元号令和の発表有り、桜は満開新入

生新社会人が花を咲かせ、又、私は今年の4月より禁煙する。今も続いている。Happyである。

荻島 靖久

● 孫娘の大学入学式を参観しました。患者の心に寄り添う優しい医者になってほしいと願っています。

岩島 寛

● 来週小籠包を食べに上海へ行って来ます。古鎮散策も楽しみに。

野口 浩平

● 孫の長男が3月国家試験に合格し薬剤師に、長女が自分の希望した大学の理工学部応用化学科に合格。じじ、ばばほっとしています。

高取 和郎

● 富士森公園、今年もりっぱに桜が咲きました。沢山の花見客でにぎわいました。ハッピーでした。

山口 三郎

● 生涯学習サロンも3週目を迎えました。おかげさまで順調に進んでいます。「令和」になっての閉講式に向かって。

一瀬 明

● 春休み中の孫息子と2人で2泊3日の大阪旅行をしてきました。丁度桜が満開で良い花見ができた事や、殆どの名所見物や、殆どのお土産の食べ物を満喫してきました。

寺田 昌章

● 学習サロンの話し手として「懐かしの映画とその音楽」を担当して今回20回目を迎えました。20年もの長い間参加して頂いた皆様や支えて頂いたクラブのスタッフに心から感謝申し上げます。

立川富美代

● 平成7年10月にスタートした我がプロバスクラブは、本日平成時代最後の例会を迎えます。令和時代へと更なる発展を祈念します。

馬場 征彦

● 今回は平成最後のプロバスの例会でしょうか。新しい元号の時も共にすこやかな人生を送りたいものです。

宮城 安子

● 本日B.H(ブラックホール)の写真が発表されました。KU-MA(クーマ)「こども宇宙未来の会」の前会長平林先生が指導しておられた電波望遠鏡の成果です。感動多大。

下山 邦夫

● 本日学習サロン第3週D講座で「話し手」を務めます。どうぞよろしくお願いいたします。

杉山 友一

● 新元号「令和」が発表され、お札も新しくなるという。一万円札は渋沢栄一になるとのこと。私のふ

るさと、深谷の誉れのひとです。この上ないニュースに Happy!!

持田 律三

● 春休みに新潟あてま高原で最後の雪遊び!! 息子一家 5 人と童心にかえって楽しく遊んできました。ハッピーな一時でした。

飯田富美子

● 八王子清川町にて花見を酒なしで家族で行いました。

杉田 信夫

● 4月6日西片倉町会「花まつり」、4月7日子安西町会「桜まつり」で、私の所属する由井吹奏楽団が、イベント賛助出演しました。地域奉仕活動の一環です。

武田洋一郎

● ひ孫の志龍君一年生おめでとう。ともだちおおぜい良かったね!おーちゃん

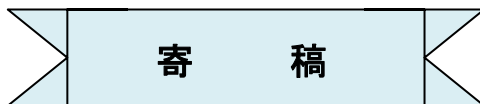
大野 幸二

● 83 才のバースデイも元気に迎えました。仲間の皆さんのおかげです。感謝して今後も元気に活動します。

塩沢 勉夫

● 今朝は富士山がことの外きれいでした。桜も昨日の季節外れの雪に耐えて未だきれいに咲いています。本日のサロン第3週の成功を祈って。

田中 信昭



スイ、キン、チ、カ、モク、ド(ツ)、テン、カイ  
下山 邦夫

「宇宙の学校」では、子供たちに宇宙を素材に、いろいろな実験・工作を行っています。それぞれに楽しい、良い経験となっています。一昨年の経験の中で、実験は面白いが、宇宙との関連が少ないという指摘がありました。そこで昨年(平成30年度)では、専門家による宇宙の話を1単位入れました。手始めは東京工科大学会場で、JAXA から清水博士が来てくださいました。そこでは、話題の新鮮さから、**はやぶさ2**のお話がメインでしたが、太陽系の話から、宇宙の話まで、子供達にも喜んでいただけたと思います。

太陽系の話では、その惑星についても触れなければなりません。太陽に近い順で水、金、地球、火、木、土、天王、海王という8惑星の紹介があったのですが、そこで標題のように、太陽に近い順に声に

出すと覚えられやすいよ、と言われたのが印象的でした。

こんな覚え方は平安時代に**口遊み**という書物で、いろはや干支、九九、大小の月……声に出して覚える実用的なものを教える書物があったようです。惑星もそれに習って声に出すと覚えやすいというわけ

です。お話の後の質問コーナーでは、子供たち大勢から活発に挙手がありました。それぞれ鋭い質問でし



た。例えば「**はやぶさ2**はどうしてりゅうぐうに行くのですか」「りゅうぐうに重力はありますか」……等々。先生からの答えは児童向けでしたが、少し解説してみました。

「どうして行くのか。」

(はっきり答えられる方は少ないかもしれません。いろいろな測定器を積んでいます。)

生命の誕生の秘密を解き明かすことが考えられるからです。地球など惑星は、宇宙のガスやダストが寄り集まって出来たのですが、重力でつぶれて高温になり一度溶けています。小惑星は溶けていないものがあるので、当初の物質のままと考えられ、生命誕生プロセスの重要な参考のデータとなります。氷を含む準惑星ケレスにアメリカが2015年探査機ドーンを接近させ、観察データを送ってきましたが、サンプルを持ち帰ったのは**はやぶさ1号**で、小惑星いとかわの岩石でした。**はやぶさ2**は炭素を持つ小惑星りゅうぐうをめざして、生命誕生の秘密を明かすデータが得られるのではないかと期待されているのです。おりしも今年2月22日にタッチダウンに成功し、サンプルの採取に成功しました。帰還まで待ち遠しいです。

「りゅうぐうに重力はあるのか」

小さいがちゃんと存在します。地球の直径は約13,000 km。りゅうぐうは900mということです。仮に直径1 kmの球としましょう。すると1:13,000位です。密度も小さいので、もう少し小さい重力でしょう。りゅうぐうのように球ではない場合でも詳しい計算と測定(レーザー高度計で形と重力の分布を測

定する)をして内部の元素の推定をするそうです。軽いつまり水があれば生命との関連性も考えられます。重力はあるのかと言う、素朴な疑問から科学は進むのです。

星は、ガス(水素、ヘリウム)が集まって出来、その星が爆発し、飛び散った残骸が再び寄り集まってまた星となります。集まったときの大きさで寿命が決まり、また爆発します。

地球は金、ウランなどの重い元素を持っていますが、これらは1回だけの新星爆発では生まれないと考えられ、2代目以降の星屑からできたらしいのだそうです。小惑星も同じ仲間。

生命誕生に関しては土星の衛星エンケラドスに液体の水があり、熱水噴出があると2006年に探査機カッシーニが発見、報告し、話題になりました。どんなドラマがあったか、人類の探求は熱く続きます。

「宇宙の学校」でも、その探求心が芽生えればいいなど願っています。

## オペラ オペラ ああ懐かしき(その1)

山形 忠顯

1956年9月29日、東京・宝塚劇場の大舞台、歌劇「アイダ」第1幕、エジプト古代の首都メンフィス王宮の広間。唳唳と鳴り響くトランペットの音に次いで、将軍ラダメスのアリア「清きアイダ」が広大な劇場空間にと響き渡った。脳天から尾髄骨まで全身を貫き胸打ち震わせるテノーレ・ドラマティコ(テノール)のベル・カントに、満場の聴衆は驚愕し、感動に酔いしれた。



日伊文化協定発効記念として、NHKが総力を挙げて招聘した「第1回イタリア歌劇団公演」の初日は望外の強烈な幕開けであった。戦後日本の音楽芸術文化、就中、オペラの充実発展のために斯界の待望していたことが遂に実現したのだ。イタリア政府が威信をかけて世界の歌劇場で活躍している名歌手を揃え、指揮・演出・舞台美術・マネジャーが鋭意制作したイタリア・オペラ公演の1ヵ月余のロングラン舞台は、日本の音楽界ばかりでなく各界の人達にもカルチャーショックを与え

るものだった。この一大事業は、その後1959、1961、1963、1967、と継続され、名立たる歌手のA・ステラ、G・シミオナート、G・タッデイ、M・D・モナコ、G・テバルディ、F・タリアヴィーニ、A・プロッティ、R・スコット、C・ベルゴンツィなど、超一流の名歌手の来日が実現し、イタリア・オペラの名曲の醍醐味を堪能させると共に、吾人の音楽性を高め、耳を開き、声楽技倆を陶冶してくれた。

実際に、声楽教師、声楽家、歌劇団体、管弦楽団、



合唱団、指揮者、演出家、舞台美術関係者等の向上・発展は目覚ましく、また、ウィーン少年合唱団やシンフォニー・オブ・ジ・エアの来日(1955年)、H・V・カラヤンとベルリン・フィルハーモニー交響楽団の来日(1957年)も相次いで、日本のクラシック音楽界は「エポック」と呼び得る状況を呈していた。

私はその当時、柴田陸陸師(二期会創立筆頭・会長/東京芸術大学名誉教授)の許で声楽を学びはじめた18歳(東京教育大学附属駒場高等学校3年次)であったが、この「NHK招聘第1回イタリア・オペラ」に身も心も奪われ、以後オペラは声楽修業の支柱となった。

その私のオペラ修業の道程は、概ね次の様である(出演作品名と演唱担当名)。

「夕鶴」与ひょう、「魔笛」武士/タミーノ、「カルメン」ドン・ホセ、「コシ・ファン・トゥッテ」フェランド、「蝶々夫人」ピンカートン、「ポッペアの戴冠」衛兵(日本初演)、「ばらの騎士」下男(日本初演)、「椿姫」アルフレード、「河童譚」与作、「あやめ」茸(初演)、「つばめ」プルニエール(日本初演)、「パイジェルロ：セヴィラの理髪師」伯爵(日本初演)、「修

禅寺物語」頼家、「大仏開眼」学匠（初演）、「カーリ  
ュー・リヴァー」狂女（日本初演）、「ナクソス島のア  
リアドネ」スカラムッチョ（日本初演）、「アンフィパ  
ルナーズ」クイント（日本初演）のオペラで、その演  
唱技能の修得に汗と涙を流し、レパトリー構築に励  
んだ日々であった。（以下次号に続く）

## 娘たちと南米大陸最南端

### パタゴニアを旅したころ

橋本 鋼二



仕事絡みで海外をあちこち旅した時があったが、その中でも忘れ難いのが二人の娘と南米大陸の南端パタゴニアへ行ったことである。1997年、JICA（国際協力事業団）の専門家としてパラグアイに単身赴任して間もない年末に、娘たちが休みを利用して遠路様子を見に来てくれた。その機会を生かして大陸南端まで一緒に旅した記録である。

パラグアイの首都アスンシオンで落ち合い、12月27日午前の便でアルゼンチンに向かった。私にとっては三年ぶりのブエノスアイレス、南米とは思えないあか抜けした街という印象は変わらない。大きなホールで食事を楽しみながらのタンゴショーは豪華だった。ディナーのステーキは味も良かったが、何よりその大きさと厚さに驚いた。宵っ張りの国らしく、ホテルに帰ったら12時だった。

28日、早朝の便で夏のブエノスアイレスを発ち3時間、南緯51度に位置するリオ・ガジェーゴスに到着、セーターにヤッケを着て完全な冬支度に変えた。ここで食べた暖かいエンパナーダ（ミートパイ）が美味しかった。バスでカラファテまで300キロ強を走る。町を抜けると行き交う車もほとんどなく、樹木は人が住む庭地にわずかにあるだけの荒涼たる風景だった。

カラファテの町に入ると、あちこちの庭に色とりどりにルーピンが咲いていた。砂漠のオアシスといった感じの町である。アルヘンティナ湖に浮かぶ氷塊は、氷河から崩落したもので独特の青みを帯びていた。起伏のある湖畔を歩き、ペリトモレノ氷河に近

づく。時々ドーンという音がするのは氷が湖に崩れ落ちる時で、キーキーは氷が擦れ合う音らしい。翌日、ウプサラ氷河を双胴船上から眺めた。天気が良かったので、山や氷の色がきれいに見えた。帰路、らくだの仲間だという野生のグアナコの群を見た。

30日、小さな空港から飛行機でウシュアイアに入る。ビーグル海峡（水道）に面する南半球最南端の港町で、近くの低い山には雪が残っていた。ここでは“世界の果て”（Fin del Mundo）という名前をあちこちで目にした。

31日、ビーグル海峡周辺の周遊やクルージング。海鷗や、その他の海鳥、トドのコロニー、そして最後にペンギンのコロニーを見て南極大陸が近いのを意識した。この海峡は、百数十年前チャールズダーウィンの乗船するビーグル号が世界一周航海の途次立ち寄り調査した所で、その名前が付いた。若い時から生物学が好きだった私には夢の世界に立っているように思えた。

朝8時、娘たちと寄せ書きしたファックスを家に送った。日本では紅白歌合戦の始まる時間であろうか。この日は年越しの夜でもあり、ご馳走にこちらの蟹（セントージャ）料理を期待したが缶詰？冷凍の味？かいま一つだった。料理はともかく、ワインを楽しみ、12時には宿泊客に従業員も加わり、皆がシャンペンを飲み「Felicidades（おめでとう）」を言い合うシーンは悪くなかった。部屋に戻る途次、近所の家の窓から声がかかり、盛り上がるの余韻を感じた。この時間でも、西の空はまだ赤みが残っていた。南緯55度での年越しである。

## 私流の囲碁勉強法

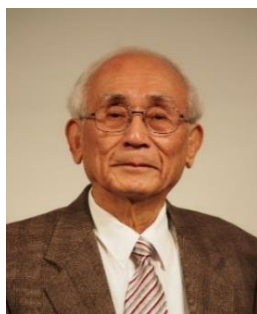
吉田 信夫

自分が趣味としている囲碁も年と共に力が落ちてきた。それに逆らって優雅な碁を打てるようにと、ボケ防止を兼ねて自分なりに囲碁の勉強をしてきた。従来は、基本定石、布石、攻め、守り、手筋、ヨセ、死活等を本で復習した上で、テレビの早指し囲碁対局番組を録画し、数多くの対局を2回ずつ見て、棋力をつけようとした。テレビの囲碁対局番組のいいところは、早指



し。自分が趣味としている囲碁も年と共に力が落ちてきた。それに逆らって優雅な碁を打てるようにと、ボケ防止を兼ねて自分なりに囲碁の勉強をしてきた。従来は、基本定石、布石、攻め、守り、手筋、ヨセ、死活等を本で復習した上で、テレビの早指し囲碁対局番組を録画し、数多くの対局を2回ずつ見て、棋力をつけようとした。テレビの囲碁対局番組のいいところは、早指

して、一手 30 秒、考慮時間 10 分なので、プロが一手打つ間、見る側も、次の手を考えられる。これが分からずに対局すると、最後まで手を読み切れず、不安定な打ち方しか出来なかった。棋力が身につく勉強になっていないと思った。



先生格の人にその事を話したら、それでは力をつかない。プロのテレビ囲碁対局を 10 回は繰り返し見る事、とアドバイスを受けた。アドバイスに従い、1 局の囲碁対局を 10 回見始めたら、色んなことが分かってきた。

最初の 1~2 回は、ただ手順を追うだけで、内容の理解はあまり出来ず、棋譜も追えなかった。4~5 回目くらいになると打ち手の意図が理解出来るようになり、7 回目以降になって、初めて自分の対局でも参考になるのではと思うようになった。

特に、序盤の布石から中盤までの場面での対局観、大場、急場への考え方等については非常に参考になった。問題はこの勉強には時間がかかること、これには対局の状況にもよるが、終盤前に切り上げ、時間短縮を図るのがいい。もう一つは繰り返し見ることは地味で忍耐を要する事である。これは囲碁大好き人間なら我慢できるものである。

この勉強法に切り替えてからまだ間もないので、成果にはつながっていないが、自分が納得する碁が打てるのを楽しみに頑張っている。

### 自動車免許証の自主返納

~その後 東山 榮

最近高齢者特に 70・80 代の自動車事故が増えている。かなり大事故もある。

私は去年の暮れ家族の前々からの進言もあり、米寿で運転歴 60 年の自動車免許証を返納した。小用は自転車だと思って乗ってみたら、何年も乗ってないのでふらついて、危ないからやめろと家族に言われた。仕方がないから、外出はバスとタクシーとタクシーとなった。

当初は戸惑ったが、次第に慣れてきた。今は健康で快適な生活を送っている。

### 私の一句〈四月の句会から〉

河合 和郎

同好会の一年間の活動の成果をまとめた「夕やけ句集」の第六巻が完成した。作品もより充実し、日頃の精進が実を結びつつある。

平成最後の句会の作品を紹介しよう。

夏来たるわれ病床に伏せ候 渋谷 文雄

病床にあつての苦吟。子規の「病床六尺」に迫る迫力。下五の「伏せ候」の遊び心の措辞が心憎い。

大がらす川鶉に紛ふ水浴ぶり 山形 忠顯

同じ光景を詠んだ「鶉水浴び川鶉に紛ふ潜りぶり」の一句が 4 月 7 日の朝日俳壇に入選。お見事。

あな嬉し米寿の春に初曾孫 東山 榮

これは嬉しい話。上五の「あな嬉し」が全てを語る。米寿と初曾孫の二重の喜びに心から乾杯。

天幕を這って顔出す遠雪崩 矢島 一雄

春の山は危険がいっぱい。テントに響く雪崩の音。恐々様子を伺う「這って顔出す」に緊迫の臨場感が。

草萌の絹の道なる峠かな 池田ときえ

その昔、絹を運ぶ荷駄の列が絶え間なかったという「絹の道」。若草の萌える峠路に往時を偲ぶ。

瀬戸の春島にフェリーの大あくび 田中 信昭

フェリーが島に着くたびに、大口を開けて車や人を港に下す。「大あくび」が洒脱で決まっている。

繚乱の花の車窓や一人旅 飯田富美子

旅の車窓に、百花繚乱に咲き乱れる桜の景観が飛び込んでくる。特急あづさ号の車窓の景が浮かぶ。

夕焼けのチャイムに気づく日の永さ 馬場 征彦

八王子市の防災無線のチャイムは「夕焼け小焼け」の調べ。日が永くなる 4 月からは夕方の 5 時に鳴る。

春風や牧の匂ひといななきと 河合 和郎

緑の若草に覆われた牧場には駿馬の姿が見られる。あの懐かしい匂いと仔馬の嘶きが聞こえてくる。

### 編集後記：

令和元年になり第一号のプロバスだよりとなりました。その編集を担当 ラッキー！

東山 榮